

【水彩画クラブ27】卒業後7年目の活動 2019年9月

◇第146回活動:2019年9月9日(月) 午後1時から ヌエック研修棟 207号室

前回まで習作してきた課題『日高・高麗川の清流』、自宅で各自仕上げてきた作品を白板上に貼り出して、内ちゃん先生の画評をいただいた。

内ちゃん先生の画評は、①課題のポイント”正面の白っぽい崖”の描き方、②崖の左側に見える暗い部分、③その暗い部分に見える葉っぱの描き方の3点を助言された。

そして、一番大事な高麗川の水面に映る岩陰や、手前の陽当りなどを表現する描き方が難しかった。

今日の活動は『自分の風景』を描いていく。

各自用意してきた自分の風景写真を白板上に貼り出した。

1. 最初に、手本台に貼る写真のつくり方を指導された。

① 撮影した自分の風景写真をA4判で印刷

② 描いていく水彩紙サイズF8のタテ・ヨコ寸法と、自分の風景写真A4のタテ・ヨコ寸法の比率を求める。

(1) F8のタテ380:ヨコ455比⇒1:1.197を求め、A4のタテ210に1.197を掛けた数字ヨコ251を求める。

(2) A4判より大きい紙にタテ210×ヨコ251の寸法で四角形を書いてから、その四角形を切り抜いてF8サイズ枠をつくる。

(3) F8タテヨコ比にカットした写真の中心点に印を付ける。

(4) コンビニなどのプリンターで、半分ずつA3サイズに拡大コピーする。片方写真の中心印でカットしてから、もう片方の中心印と合わせて貼り合せ、手本写真にする。

※ 自分の風景写真、何処をポイントにして描いていくか？ 自分の写真を内ちゃん先生に見てもらい、何処を描くかなどを教わりながら、それぞれ描いていった。

2. 次回(9月23日(月))の活動予定 ヌエック本館 試食室

次回の活動で仕上げていく。

各自、F8サイズ比率でつくった手本写真をF8水彩紙にデッサンし、ある程度まで描いてくること。

◇第147回活動:2019年9月23日(月) 午後1時から ヌエック本館 試食室

自分の風景『群馬・四万ダム湖』を自宅で描いてきた。

型紙にF8サイズのタテヨコ比(1:1.197)で繰り抜いた型紙を、A4の課題写真に被せて描くポイントを決めて手本写真にして、水張りしたウォーターフォード水彩紙(F8)にデッサンした。

① 中央部の赤い橋と、その左右の小高い山をハッキリと濃い目に描いていく。

② 次に、描いてきた小高い左右の山の直ぐ後ろに見える山、赤い橋の後ろにある山を、少し淡いめに描いていく。

③ 湖面左下に見える草原を、手本の色合い通りに黄色っぽく描いていく。

④ 奥に見える山嶺と、一番後ろに見える山嶺を薄っすらと描いていく。

⑤ 空の色は白く見えるよう塗っていく。

⑥ 湖面に見えている白いスジ状の波頭に、手本を見ながら形状と位置などを見ながら、マスキングをしていく。

活動の前に、11月開催の美術展へ出品する習作作品(昨年11月から、今年7月まで)を各自2点まで選んだ。

① 初夏の中禅寺湖 ② 八幡平の湿地 ③ 智光山公園・雪の岸辺 ④ 芦ヶ久保の氷柱

⑤ 公園の菜の花 ⑥ 日高・高麗川の清流

次に、美術展会期中(11月5日(火)~10日(日))の受付当番を決めた。出展する各クラブ(篆刻、写真、水彩画)から人数を出し合った。現時点で6日(火)の午後、8日(金)の午前と午後、10日(日)の午前が空いている。

(切り絵クラブに受付当番を出してもらえよう、声かけしていく)

今日の活動は『自分の風景』を描く2回目。各自夫々準備してきた「自分の風景」を、手本写真を見ながら描き始めた。

自分の風景『群馬・四万ダム湖』、自宅で正面奥の山々と左手前の草原を描いてきたので、今日は湖面を描いていく。

1. 小高い山の暗い水際から色をおいていく。

塗っていく箇所に水を塗ってから、濃い目の青っぽい影色で水際を塗っていく。

2. 左下の草原周りの水面を描いていく。

3. 草原端から右への湖面を塗っていく。

4. ドライヤーで十分に乾かしてから、施してきた湖面のマスキングインクを剥がしていく。

結果的にキレイにインクは剥がれず、強めに擦ると水彩紙表面にキズが付いたり、剥がれていったりした。

※ 内ちゃん先生に相談したところ、「水彩紙がカゼを引いたからです」とのことでした。気温や湿度が高い時期に、水彩紙を部屋に出しておく、水分を吸って”カゼ”を引いた状態になる。

梅雨など気温や湿度が高い時期は、ビニールなどの袋に乾燥剤と一緒に密封・保管しておくことが大事と話された。対処方法を先生に教わった。「カッターナイフの尖った刃先を垂直に立てて、施していたマスキングインク跡を削って紙をむき出していく。

◇ 次回(10月14日(月))の活動予定 研修棟 207号室

次回活動の課題写真『智光山公園の水辺』が配られた。

準備してくること

① 配られたB4判写真2枚にある白点を貼り合せ、手本台をつくる。

② 水張りしたF8(orF10)のウォーターフォード水彩紙にデッサンする。

③ 左側と右側に見える白っぽい葉っぱにマスキングを施してくる。

葉っぱの一部が白く見えている葉っぱのマスキング方法

* 葉っぱ一枚全体にマスキングし、後でマスキングインクを剥がしてから白い部分を塗り残して葉の緑色を塗る描き方。

* 葉っぱの一部白い部分だけマスキングする。この時、葉の緑との境目に、予め水を少し塗ってからマスキングする。